

平成16年度市民公益活動促進補助金申請事業公開審査の結果

公開審査実施日：平成16年5月9日（日）

審査会名：大阪狭山市市民公益活動促進委員会「協働事業評価部会」

公開プレゼンテーション参加団体数及び事業数：16団体・18事業 総補助金申請額：5,132,100円 全体平均点：27.1点

審査員一人の持ち点は、45点です。今回、審査員自身が所属する団体の申請があり、審査員に辞退者が出たので、獲得点数ではなく、平均点で順位を決めました。

補助金予算額の枠内で補助対象事業として推薦できる事業を選定します。順位13は次点とします。

順位	発表順	事業名	平均点	獲得点数	審査員人数	申請額(円)	交付決定額(円)	申請事業の概要	コメント
1	10	年齢・校区を問わない夜間までの学童保育・送迎事業	35.4	283	8	500,000	300,000	年齢・校区を問わない夜間までの有料学童保育	必要度の高い事業であるが、今回の申請対象事業は法人の活動そのものであり、補助金の趣旨からは若干距離がある。市との協働事業としての手法を検討できないか。
2	12	副池の水浄化プロジェクト	33.3	266	8	104,000	104,000	竹炭を利用して副池の水質浄化に取り組む。7月から月1回副池で開催。	環境に対する取り組みで、新たな公益事業として期待できる。内容的には協働の範疇に取り入れる手法を検討できないか。
3	3	「未来の長屋」たすけあいの会事業	32.8	262	8	257,100	257,100	要介護になるまでに地域で安心して生活できる、有償サービスによる地域コミュニティづくり。	事業の公益性・必要性は高い。組織性も高く、市との協働事業としての展開が望まれる。
4	2	アニメ映画「良寛さん」上映会	30.7	215	7	200,000	200,000	アニメ映画「良寛さん」の無料上映会。7月23日上映。	子どもを対象に含め、広く勤めるためには必要と考えられるが、単発の計画としては補助金依存度が高く、継続的な取り組みを期待する上でも、今後新たな手法の展開が望まれる。
5	15	ハートフルコンサート	30.1	241	8	370,000	370,000	大阪狭山市吹奏楽団が行う、大人から子供まで気軽に楽しめる無料の音楽コンサート。7月19日ハートフルコンサート。	文化事業としてモデル的な事業。この事業が団体の全体的な取り組みの中でどのように位置づけになるのかを継続的に評価しつつ、今後、自立に向けての事業展開が期待される。
6	9	さやま合唱祭	28.5	228	8	130,000	130,000	連盟の合唱祭に自治会コーラスグループの参加を呼びかけ、交流することで地域で音楽に親しむ環境を広げる。7月4日開催。参加費有料、入場無料。	中間組織が実施する公益活動への展開としてのモデル的な役割が期待される。事業運営の透明性・公開性に関する手法の展開が期待される。
7	13	ソロコンテスト	27.9	223	8	500,000	500,000	木・金管、打楽器などのソロコンテスト。上位入賞者は関西ソロコンテストの推薦資格を得る。エントリー・入場とも有料。17年1月29・30日開催。	団体の全体的な取り組みの中でどのように位置づけるのか、今後の自立に向けての展開が期待される。
8	7	大阪狭山美術展	27.1	217	8	400,000	400,000	大阪狭山美術協会会員作品と一般応募入選作品による美術展。出品は有料、入場無料。10月17日～24日開催。	現在の評価方法にはなじみにくい。文化振興事業としての位置づけを市として再検討する必要がある。期中・事後評価を通じて将来の方向を検討する必要がある。
9	1	市民作陶展	26.9	215	8	70,000	70,000	プロ・アマに関わらない陶芸作品の展示会。出品有料。入場無料。17年3月12・13	今後の発展が望まれる事業であるが、資金計画を検討し自立に向けた展望が望まれる。
10	18	ガイドヘルパー養成事業	25.9	207	8	500,000	250,000	法人の開くガイドヘルパー養成講座の受講料助成を行うことで、地域の人材養成の促進を図る。	受講料助成については、公益性の観点からだけで評価できるか疑問が残る。他の観点からの取り組みを検討するためにも本補助金については一部充当とする。
11	5	こどもふれあいフェスティバル	25.8	206	8	200,000	200,000	子どもに琴、コーラス、日本舞踊、洋舞、茶華道などに取り組む機会を提供しその発表会を開く。7月31日入場無料。	伝統文化を子どもに継承する取り組みとして貴重な事業。運営・組織に関する透明性・公開性に新たな展開が望まれる。
12	16	自然環境保全に関わる講座および体験学習	25.8	206	8	207,000	207,000	自然環境保全に関する講座・体験学習。補助金を活用して受講料を低廉に抑えることで地域の住民の環境意識の高揚を図る。	地域の環境に対する取り組みとしての位置づけを明らかにした展開が望まれる。期中・事後評価を見守る必要がある。
次点	11	パソコンフォローアップ講座	24.1	193	8	300,000	300,000	IT講座修了者のフォローアップ講座。補助金を活用することで受講料を抑制し、受講しやすくする。	受益者負担と公益活動促進の観点の整合性について今後の検討の必要性を示唆するものであり、事業所振興との兼ね合いもあり、次点とする。